

仙台保健福祉専門学校 学校関係者評価委員会報告

学校法人菅原学園 仙台保健福祉専門学校では、本校規程に基づき、令和元年7月23日に、学校関係者評価委員会を実施いたしました。内容について以下のとおりご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導等を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

1. 日 時：令和元年7月23日（日）15:00～16:00
2. 場 所：仙台保健福祉専門学校 316教室
3. 出席者

【令和元年度 学校関係者評価委員】

敬称略

氏 名	所 属 団 体	備 考
1 高瀬 貞夫	(医療法人) 和康会 仙台クローバークリニック 院長	理学療法科 作業療法科
2 山田 喜広	鹿島デンタルオフィス院長	歯科衛生科
3 巴 雅人	有限会社 車座 社長	介護福祉科
4 大塚 涼子	(社福) ラ・サール会 児童養護施設ラ・サール・ホーム施設長	こども科
5 伊藤 基	卒業生 (NPOみやぎ・せんだい子どもの丘 大和町もみじヶ丘児童館館長)	こども科

【学校教職員】

校長 菅原 一博 学術顧問 眞柳 秀昭 副校長 熊谷 孝一 教頭 菅原 努
理学療法科科长 山田 剛 作業療法科科长 佐藤 元彦 歯科衛生科科长 横山さゆり
こども科科长 工藤 愛美 介護福祉科主任 加藤 昭仁

4. 次第

- (1) 開 会
- (2) 挨 拶 学術顧問 眞柳 秀昭
- (3) 議長選任 議長 山田 喜広
- (4) 自己評価報告 副校長 熊谷 孝一
- (5) 討議・意見交換 各委員
- (6) その他
- (7) 閉 会

5. 自己評価結果との質疑

(1) 教育理念・目標

人材育成については、コミュニケーション能力の向上を重点に行っている。挨拶はできるが、会話につながらないことがあるので、学内でワークショップ等を開催し、クラスだけでなく他学年他学科と交流ができる場面を設定している。

(2) 学校運営

情報システム等において電子決済により業務効率を図ることで、授業に必要な物品購入などに素早く対応できるようになった。

(3) 教育活動

教職員の欠員が発生した場合には、すぐに補充できるようにしているが、今の社会情勢では、労働人口自体が減少している状況である。本校の卒業生が現場での経験を積み、学校に教員として戻ってこられるような人材育成も必要と考えている。

(4) 学習成果

就職希望者に対する就職率は、3月までに100%に達している。集団模擬面接試験での練習などで、コミュニケーション能力を高められる指導を行っている。

(5) 学生支援

学費については、理学療法科、作業療法科、歯科衛生科が高くなっているが、授業や演習、実習を考えると必要な金額である。現在、各種奨学金を利用できる方法があるが、2020

年度から文部科学省より新たな奨学金制度が実施される。本校もその対象になれるよう準備中である。

(6) 教育環境

学内の教育だけではなく、実習など学外での経験も学生にとって大きな力となる。各企業と情報を交換しながら、モチベーションを高める関わりを体験させていく。

(7) 学生の受け入れ募集

厳しい状況に変わりはないが、入学案内パンフレットを毎年作成しているが、それ以外にも学校での生活の様子をSNS等で発信するなど、いろいろな手段を考えていく。

(8) 財務

意見・異議等なし

(9) 法令等の遵守

理学療法科、作業療法科は4年に一度「第三者評価」を実施している。将来的には、他科での実施も必要と考えている。

(10) 社会貢献・地域貢献

学生の休日の過ごし方には、ゆっくり休みたい者、経済的理由によりアルバイトを行っている者などいろいろあるが、昨年に比べてボランティアへの自発的参加希望者が増えてきている。教職員からの声え掛けも大切である。

ボランティア活動等に積極的に参加する学生がみられる。さらなる充実を目指したい。